

環境経営レポート



大塚産業株式会社

対象期間：2023年5月～2024年4月

発行日：2024年9月20日

改訂日：2024年12月6日

目 次

項 目	ページ
1. 組織の概要	2
2. 環境経営方針	3
3. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
4. 環境経営目標及び環境経営目標の実績	5～7
5. 環境経営計画及びその評価・次年度の計画	8
6. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無	9
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示	9

1. 組織の概要

- 事業所名及び代表者氏名

大塚産業株式会社

代表取締役社長 原田 裕司

- 所在地

本社：東京都墨田区東駒形 2-18-12

コンパウンド 事業部：埼玉県さいたま市岩槻区末田 2092

モールディング事業部：茨城県坂東市小泉 983

- 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 コンパウンド 事業部

品質管理課：竹下 新吾 TEL: 048-798-0448

FAX: 048-798-2052

環境管理担当者 本社総務部長：今野 玄德 TEL: 03-3625-5651

FAX: 03-3625-3265

- 事業活動の内容

プラスチック製品製造販売及びプラスチックリサイクル原材料販売及び
プラスチック物性測定

- 事業の規模

	本社	コンパウンド 事業部	モールディング 事業部
従業員数	10 人	23 名	11 名
延床面積	146 m ²	2,203 m ²	2,539 m ²

□ EA21 対象範囲

- 登録組織名：大塚産業株式会社

- 対象事業所：本社：東京都墨田区東駒形 2-18-12
コンパウンド事業部：埼玉県さいたま市岩槻区末田 2092
モールディング事業部：茨城県坂東市小泉 983

2. 環境経営方針

<環境経営理念>

当社は地球環境の保全が人類共通の重要課題であることを認識し、社会の一員として環境負荷の継続的低減に努め、持続的に発展できる社会の実現に貢献します。

<行動指針>

1. 省エネルギー化を進めて、二酸化炭素排出量を削減し、 もって地球温暖化の防止に寄与します。
2. 省資源で仕事を進めるように努め、廃棄物や、ゴミの発生量を低減します。
3. 節水を進め、排水量を低減します。
4. 環境関連法規等を遵守すると共に、内外に環境改善への活動を 約束し、環境コミュニケーションを通じて公表します。
5. 環境に優しい(環境の改善に寄与する)商品の拡販に努めます。
6. グリーン購入を推進し、環境に配慮した調達を進めます。

当社は、全ての事業活動が地球環境に影響を与えていることを認識した上で社内の要所に環境経営方針を掲示して、全従業員にエコアクション21環境経営システムを徹底します。

制定：平成 22（2010）年 5月 1日

改訂：平成 23（2011）年 5月 20日

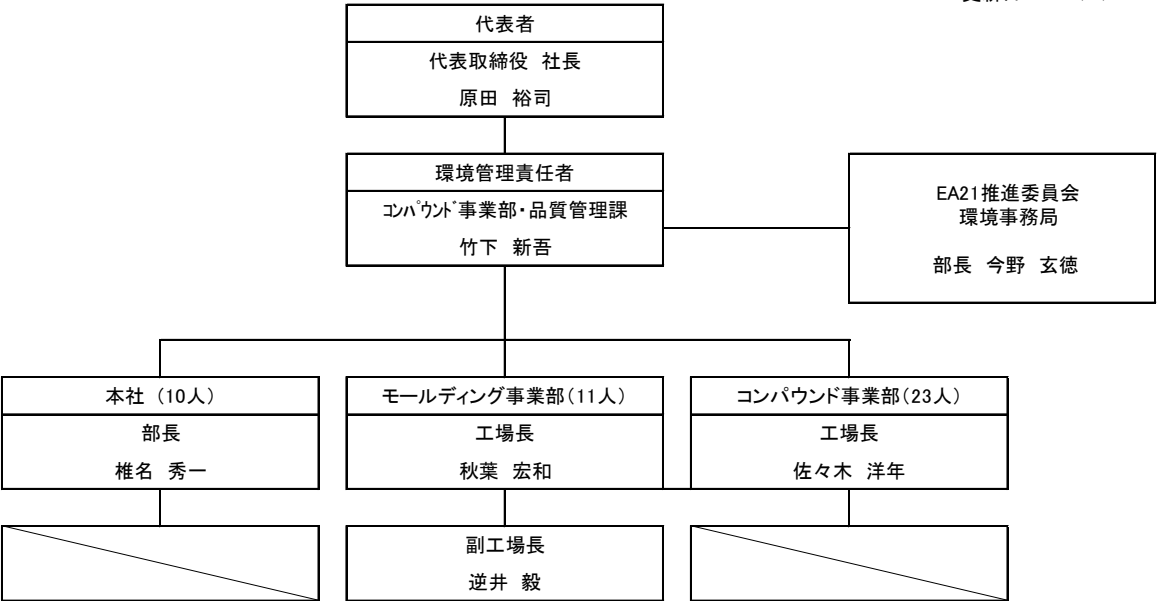
大塚産業株式会社

代表取締役社長 原田 裕司

環境経営組織図及び役割・責任・権限表

大塚産業株式会社

作成者：今野 玄德
更新日：2024/8/1



	役割・責任・権限
代表者(社長)	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの運用に必要な人、設備、費用、資金を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標・環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理、 - 環境関連法規等取りまとめ表を承認 - 環境経営目標・環境経営計画(兼実績評価表)の確認 - 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告・ - 環境経営レポートの確認
部門長	- 自部門における環境経営システムの実施 - 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境経営計画の実施及び環境経営目標達成状況の報告 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 - 試行、訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
環境事務局(グループ長)	- 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 - 環境経営活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標・環境経営目標の実績

4-1 環境目標

中 長 期 目 標

項 目	基準年度 2017 年	2021 年度	2022 年度	2023 年度 今年度 目標	2024 年度
1. 二酸化炭素排出量削減					
・電気 (kg-CO2)	731,582	△4% (702,318)	△4% (702,318)	△4% (702,318)	△4% (702,318)
・ガソリン (kg-CO2)	22,954	△4% (22,035)	△4% (22,035)	△4% (22,035)	△20% (18,363)
・灯油 (kg-CO2)	1,221	△4% (1,172)	△4% (1,172)	△4% (1,172)	△4% (3,634)
・LPG (kg-CO2)	10,957	△4% (10,518)	△4% (10,518)	△4% (10,518)	△10% (8,766)
・CO2合計 (kg-CO2)	766,732	△4% (736,062)	△4% (736,062)	△4% (736,062)	△4% (733,081)
2. 廃棄物排出量削減					
・一廃 (t)	0.471	△4% (0.452)	△4% (0.452)	△4% (0.452)	△4% (0.452)
・産廃 (t)	24	△4% (23.04)	△4% (23.04)	△4% (23.04)	△4% (23.04)
3. 総排水量削減 (m ³)	5,463	△4% (5,244)	△4% (5,244)	△4% (5,244)	△10% (4,917)
4. リサイクル原材料拡販 (t)	470	7% (503)	7% (503)	7% (503)	7% (503)
5. グリーン購入 (%)		実態調査	実態調査後 設定	20%	20%
6. 社会貢献活動	週3回	毎日	毎日	毎日	毎日

※基準年度は、2017 年度（2024 年度目標の灯油は 2023 年度を新たな基準年度とした）

※CO2 排出係数は、H28 年度東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数 0.474kg-CO2/kWh を使用した。

（化学物質使用量削減目標を設定していない理由）

弊社では製品の原料、着色材を使用していますが、これらは消防法上の可燃物には該当しておりますが、毒物及び劇物取締法、労働安全衛生法、化学物質排出把握管理促進法における化学物質には該当しない事を SDS 等で確認しています。

これらの他に化学物質の使用はないので、当社では化学物質削減に関する環境目標を設定しておりません。

4-2 環境目標 12 ヶ月運用結果（2023年5月～2024年4月）

項 目	基準年度 (2017 年度)	目 標	実績	目標達成状況
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気 (kg-CO2)	731,582	702,318	688,327	○
・ガソリン (kg-CO2)	22,954	22,035	11,253	○
・灯油 (kg-CO2)	1,221	1,172	3,785	×
・LPG (kg-CO2)	10,957	10,518	7,720	○
・CO2合計 (kg-CO2)	766,732	736,062	711,085	○
2. 廃棄物排出量削減				
・一廃 (t)	0.471	0.452	0.260	○
・産廃 (t)	24	23.04	24.93	×
3. 総排水量削減 (m ³)	5,264	5,244	4,548	○
4. サイクル原材料拡販(t)	470	503	0	×
5. グリーン購入 (%)	不明	20%	23%	○
6. 社会貢献活動	週3回	毎日	毎日	○

灯油の二酸化炭素排出量に関して、実績値集計方法に一部誤りがあった。

実態に沿って再集計した結果、目標値を大幅に超える値になった。(2023 年基準、目標再設定)

○目標達成 △目標未達成但し基準年より改善 ×目標未達成

5. 環境経営計画・取組結果と評価、次年度の計画

エコアクション 21 の取組みで社員の環境意識が向上した、今後も更なる削減を継続して進める。

環境経営目標	環境経営計画	取組結果と評価	次年度の取組
電気使用量の削減	1.不使用时こまめに消灯	目標達成。	継続
	2.未使用換気扇電源 OFF		
	3.パソコン電源 OFF		
	4.エアコン温度の適正管理		
	5. 機械のロスを減らす		
ガソリン使用量の削減	1. アイドリングストップ	目標達成。	目標改訂
	2. 急発進・急加速の禁止		
	3. タイヤ空気圧適正保持		
	4. 不要な荷物を積まない		
	5. 積載オーバーをしない		
灯油使用量の削減	ボイラ燃焼時間の適正管理	前年実績値より削減	目標改訂
液化石油ガス使用量の削減	フォークリフトの適正管理	目標達成。	目標改訂
二酸化炭素排出量の削減	電気、ガソリン、灯油、プロパンガスそれぞれの使用量を減らし、総合的に二酸化炭素の排出量を減らす	目標達成。	継続
廃棄物排出量の削減	1.ごみの 徹底分別	目標未達成。	継続 一般廃棄物は 目標改訂
	2.使用量削減意識の徹底		
	3.裏紙保管箱の設置		
	4.極力電子媒体に記録		
	5.コピー用紙の裏面使用		
総排水量の削減	1.こまめに蛇口を開閉する	達成。	目標改訂 検討中
	2.止水を確認する		
	3.水使用量削減意識の徹底		
リサイクル原料材の拡販	プラスチックリサイクル原料材の販売促進を積極的に行う	顧客都合により注文停止、実績ゼロ。	新規テーマ 検討中
法定点検の実施	法規制等チェックリストを作成し、毎年チェックをする	今後も、定期的にチェックする。	継続
グリーン購入の推進	1. 事務用品について現状調査 2. 調査に基づき目標設定	達成。	目標改訂 検討中
社会貢献活動	事務所・事務所周りの清掃	目標とおり活動を行う。	継続

6. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

弊社の遵守しなければならない環境関連法規として、廃棄物処理法、消防法、騒音規制法等及びそれらに関連する各地区の条例等があります。弊社では、これらの法規制遵守のために、これらの法規制の一覧表を作成し、定期的に遵守状況をチェックすることにより、違反のないことを自主的に確認することにしています。なお、これらの法規制に対する消防署から改善の指摘がありましたが、対応を進めています。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

昨年に引き続き両工場の稼働状況は良い中で目標達成出来ている項目については引き続き削減に向けて努力致します。未達成項目の「灯油の CO2 排出量」においては一部集計方法の誤りが判明し、当初の目標値から見直す必要があり、今回の数値を目標値として取り組みます。

(以上)